

令和6年度 第3回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月23日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 本多 靖明、杉浦 猛弘、藤本 桂、鈴木 仁、永田 真也、山内 雄一郎
山田 佳敬
- 4 欠席委員 名倉 久純、石川 公子
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター所長）
- 6 学 校 中村 竜久（校長）、美和 泰子（教務主任）、波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 会議記録作成者 CSディレクター 波多野 祐子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、杉浦委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

（1）学校の抱える課題と改善策

① あいさつの活性化

11 会議記録

司会の美和（教務主任）から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校の抱える課題と改善策

① あいさつの活性化

2グループにわかれて、良い点、課題、改善点について話し合いました。

A グループ（校長、本多委員、藤本委員、永田委員）

良い点

- ・中学生になるとあいさつ率高い。
- ・元気がある子が多い。

課題

- ・知らない人にはあいさつをしない。
- ・たくさん並んでいてあいさつされてもはずかしくてできない子がいる。

改善策

- ・顔を知ることができれば、あいさつできる。
- ・市教委の健康安全課に「反射材付きタスキ」（無料）をつけて、「ながら見守り」をするボランティアのしくみがある。子どもの送迎時につけてもらうなどしていけば定着するのではないか。希望する保護者の申請は学校でまとめてやってもらえたらハードルが下がるのではないか。地域の方にも紹介することができる。

B グループ（杉浦委員、鈴木委員、山内委員、山田委員）

良い点

- ・学校内のあいさつはできていると思う。
- ・全校で曜日毎に担当を決め、プロムナードであいさつ運動をしている。
- ・交通指導隊の人たちにはしっかりあいさつしている。

課題

- ・地域の人たちのあいさつは難しい。
- ・保護者からのあいさつは子供からするとプレッシャー？
- ・旗振りであいさつしてくれない子もいる。(保護者も)
- ・大人も声掛けづらいし、きっかけがつかみづらい。
- ・子どもたち自身があいさつできているのか聞いてみたい。
- ・あいさつができない原因はひとつではない。
- ・クラブ、部活がないからあいさつしない？

改善策

- ・親、大人があいさつすることが大事。
 - ・子どもたちが地域の活動に参加する。
 - ・子どもたちにあいさつについて考えてもらう。
 - ・地域とのかかわりが大切。
-
- ・基本的には出来ている。どこかに大きな負担がかからない活動を。(山田委員)
 - ・自発的にできる環境を、大人と子どもで考える。(山内委員)
 - ・あいさつについて考えるきっかけづくりをする。(鈴木委員)
 - ・いきなり変わるのは難しい。少し長いスパンで考えて、しっかり結果が出て、継続できる方法を考える。(藤本委員)
 - ・負担が少なく継続重視で大人に働きかける。学校がやりやすい手段で。(永田委員)
 - ・あいさつが少なくなったとは思わない。家の前で子どもに出会えばあいさつするようにしている。小さな力でもお手伝いできれば、と思う。(本多委員)
 - ・保護者が、児童が卒業しても地域としてかかわりを持ってもらえるよう、保護者の意識をかえていけたらよいと思う。(永田委員)
 - ・投げかける場があれば、お手伝いやボランティアも集まるのではないかな。その場が、代々つながるプラットホームになれば良いと思う。(鈴木委員)
 - ・ボランティアなどのネットワークを作り、気軽に参加できるようにして、保護者にはSNSなどを使い、手をあげやすくしてはどうか。(山内委員)
 - ・クラブ活動の講師は、色々な業種の人に来てもらう。
防災は、子供と実際に避難所を作ってみるのはどうか。
ボランティアの組織作りに関して、名簿作りはなかなか難しいと思うが、SNSや回覧板など発信の場だけでも準備できれば。(山田委員)
 - ・子どもにも大人にも、あいさつできない事情があるのではないかな。
学校、子ども、地域をつなぐコミュニティーを作っていくことが大事だと思う。(杉浦委員)
 - ・あいさつできない大人は不審者、という声を聞いたことがある。船越は、地域のつながりが厚い地域だと思う。以前、協働センターで開催したイベント(ヒップホップ)では船越の子どもが多かった。協働センターとしても、お手伝いできることがあればやりたいと思う。(佐藤所長)

その他報告事項等

- ・コーディネーター（山田委員）より活動報告があった。
9月、「地域を知る」という授業で、本多委員にお話をしてもらった。
コーディネーター研修会に参加した。グループワーク（八幡中、東小、県居小）の話し合いで他の学校の活動の様子を知ることができて参考になった。
- ・司会から、次回会議は、令和7年1月24日（金）14時40分から会議室で開催する旨の報告があった。